
政略結婚!??

絵里朧

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

政略結婚！??

【Nコード】

N0280H

【作者名】

絵里 卍

【あらすじ】

お嬢様の絵里は、会社の都合であったこともない人と結婚することになる！！最初は嫌がっていた絵里も、一緒に暮らしているうちに段々ひかれていく……

始まりの日

「はあ????嫌まじ訳わかんないんだけど」

「お前んちの金目当てにつきあってたけどよお・・・お前つまんないんだもん」

「何・・・よ・・・それ」

「悪いなっ、まっそういうことで今までありがとなっ」

そっいつて3ヶ月付き合っていた彼氏と別れた。

あ!!!!申しおくれました!!!!

あたしは高校1年生の池口絵里いけぐちえり

成績は真ん中くらい

身長は163cm

一人っこで、おじいちゃんおじいちゃんは池口財閥の社長

自分で言うのもなんだけど、顔は普通に可愛いと言われる方

この高校はお金持ちばかりが通う私立!!

恵まれた環境で育ってきた

でもね……。

認めたくないんだけど、あたしはいつも男運が悪いらしい……

今まで付き合ってきた人数は6人

でも、そのうちほとんどは、

「もう飽きた、つまらない」って言って別れてきた……

まあ大体の男は、うちが有名な財閥と言う理由で告白してくるから

ひっかかる単純なあたしも悪いんだけどね!!

「あーあ、今度こそうまく行くと思ってたのになぁ……」

あたしは1人でつぶやいた

そうしてるうちに

キンコンカンコンコン

予鈴がなつたので急いで教室に戻った

「絵里っ！！もっつ、トイレ長すぎっ！！やよい寂しかったー」

そっいつてあたしに飛びついてきたのは

親友の佐倉^{さへん}やよい

やよいは天然で、ちっちゃくて、めっちゃ可愛いの

「はいはいごめんね！！でも、トイレじゃないからね！！」

「へ？？？じゃあどこ行つてたの？？？」

「ちゃんといったでしょ！！呼ばれてたの！！やっぱ別れ話だった・

」

「ええっ！？絵里また別れちゃつたの！？」

「もう！！多分そう・・・っていつてたんだからいちいち驚かないの！！」

やよいは言つたことをよく忘れる・・・

「ああ！！確かにいつてた気がするー！！」

「おい・・・ww」

「ごめんって！！まあ、絵里にはやよいがいるもんねっ」

「やよいにはちゃんと彼氏がいるでしょ?？」

「大丈夫!!絵里は特別だからっ!!」

何が大丈夫なんだろうww

「ありがと!!あーあ、なんでみんなお金目当てなんだろう・・・いい人いないかなあ・・・」

「そのうち絵里にも白馬の王子様がくるよっ」

どこのおとぎ話だよっ!!

そう心の中で突っ込んだ!

「おい、席座れ」

数学の中西先生が言った

「池口、お前のおじいさんから連絡きてるぞ!急いでいけ」

「おじいちゃん・・・ですか?？」

「そうだ、おじいちゃんだ、いいから早く行きなさい」

おじいちゃんがあたしになんの用だろう・・・???

この時は、男運最悪のあたしが、これから運命の人と出会っなんて思ってもいなかった・・・

「いつてらっしや〜い」

やよいが手を振っている

「いつてきます!~!」

と、やよいに合わせて手を振ってからあたしは急いで職員室に向かった

おじいちゃん

「もしもし??おじいちゃん??」

「おお!!絵里か!!いきなりだが絵里、今何才だ!!??」

おじいちゃんはかなり慌てていた。

「え・・・16だけど・・・」

「16!?!16で間違いないな!?!」

「え・・・うん・・・」

「よかった・・・本当によかった・・・それじゃあ今すぐじいちゃんちに来い」

「え??今から??なにかあったの??」

「いいから早く来い!!それじゃあまた後でな」

「ちょ・・・ちよつと!!!!」

プー、プー、・・・

電話はすでに切れていた

「何よいきなり・・・」

ぶつぶつ言いながらあたしは先生に早退すると言った

校門を出ると、迎えの車が来ていた

運転手がすかさずドアを開けた

「ありがとう」

あたしは不機嫌にそう言った

「あなたは何か聞いてる???」

「いえ、何も」

「・・・ならいいわ・・・全く!!おじいちゃんは何考えてるんだろ」

そうこうしているうちに家についた

ちょうど着いた時に、別の車がうちから出て行った

「おじいちゃん??絵里だよー」

「おお絵里!!少し話がある」

おじいちゃんはそう言ってあたしをテーブルに着かせた

おじいちゃんはいきなり大きな声で言った

「絵里！……！一生のお願いじゃ……！！楠木さんのところと結婚してくれ……！！」

「え……？？今おじいちゃんなんて……」

言葉は聞き取れたけど理解できなかった

するとおじいちゃんは静かに言った

「楠木さんの所の息子と結婚してくれ お願いだ」

………沈黙がながれる

「なんの冗談……？大体楠木さんって誰よ……」

「楠木さんの所はうちの一番の取引先だ……だか」

「ちょっと待つて……？だからってなんであたしが結婚しなくちゃいけないのよ」

「絵里にはいつてなかったが、正直言うと今うちはそうとう危ないんだ……」

「そのくらいうすうすきずいてたよ……」

「今楠木さんとの契約が切れるとうちはずぶれる」

「でも、こっちが結婚させてなんとかしようと思っても向こうがその気がないんならさ・・・」

「それがなぜか向こうから結婚を申し込んで来たんだ 断れば契約を切ると言ってな・・・」

「・・・・・・・・・・。」

あたしは硬直した

「絵里 本当をお願いじゃ・・・」

・・・・・・・・・・どーしよう。

「あの・・・・・・・・3日間考えさせてくれる??？」

「分かった」

正直分かってた

自分に拒否権なんかないってこと

ただこの時は心を整理する時間がほしかった・・・

バタンッ

あたしは運転手が開け閉めしようとするのにも関わらず思いっきり

車のドアをしめた

外はもう暗くなりはじめていた

家の中に入ると、お母さんが玄関に立っていた

「・・・おかえりなさい!!」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0280h/>

政略結婚!??

2010年10月22日10時16分発行